

1月は令和6年度入学者選抜を実施したため、Virtual MOIS (VM) を実施しました。VM では自宅で計画的に学習を進めたり、「さいたま市学力学習状況調査」(1・2年生)や各種模試を行ったりしました。今後の予定として、生徒用PCが「Microsoft Surface」に変わる予定です。これまで使用していたPCに比べ、持ち運びやすさや性能、使いやすさなどが格段に向上し、より効果的な学習が可能となりました。こうしたICT環境を有効に活用しながら、教育活動の充実を図っていきつつも、大変高価なものを扱っているということ、物の大切さやその管理についても指導してまいります。どうぞご家庭でもご指導願います。

さて、MOISでは1月・2月も様々なイベントが開催されました。今回もその一部をご紹介します。

## ◆福島ホープツアー

1月15日(月)~17日(水)の期間に、「福島ホープツアー」が実施されました。これは東日本大震災から福島の復興を考えるツアーとなっており、後期課程生の希望者23名が東京電力廃炉資料館やJヴィレッジなどを巡りました。震災当時の状況、そしてそこから復興への道のりについて、現地に行かないとわからない学びや経験を得ることができました。

1月の朝礼にて、校長は「今年が素晴らしい年でありますように 世界にとって今年が平和で安全で安心な年になりますように」という他力本願な姿勢ではなく、「今年を素晴らしい年にしましょう 世界にとって今年を平和で安全で安心な年にしましょう」という、「自分たちが世界をよりよく変える」という姿勢でいるべきだ、という話をしました。今回このツアーに参加した生徒の1人は、行程を通して「自分たちに何ができるか」というマインドセットが変わっていった、と話していました。

次年度は3期生が対象の東北修学旅行が予定されています。こうした何かを考えるきっかけとなる、生徒にとって貴重な機会を今後も計画しています。



## ◆PTP プロジェクト「プロフェッショナル 市長の流儀」

2月17日(土)に「プロフェッショナル 市長の流儀」と題し、さいたま市長である清水勇人氏にご講演いただきました。サブタイトルにもある「MOIS設立を導いた市長が描く、世界の未来の作り方」の通り、IB校をさいたま市につくることを公約に掲げて当選した清水市長。なぜ市長になったのか、これまでの生い立ちやそのご苦労について、語っていただきました。講演の後には第2部として、校長と対談するなど、非常に濃密な2時間となりました。お忙しい公務の合間を縫って講演していただいた清水市長、そしてこの講演の開催にご尽力いただいたPTPプロジェクトメンバーの皆様、本当にありがとうございました!



今後のPTP活動の予定として、3月2日(土)は同じIB校である東京学芸大学附属国際中等教育学校の卒業生をお招きし、進路などについて考える勉強系のプロジェクトが開催されます。また3月15日(金)・16日(土)に開催の大宮国祭では、2FワークスペースにてPTPの専用ブースが設営される予定です。今後もPTP活動が目白押しとなっていますので、お時間がありましたらぜひご参加ください!(詳しくはHPまたはClassiのPTP会員グループからご確認ください。)



## 「Japan Education International Model United Nations」

IB コーディネータ: Brad Semans

Around Japan, many students participate in Model United Nations activities. Many of the MUN events in Japan are conducted primarily in Japanese. In early January, however, 16 MOIS students from 3<sup>rd</sup>, 4<sup>th</sup>, and 5<sup>th</sup> grades joined JEIMUN. JEIMUN is a new MUN event that was held at the Tokyo Olympic Youth Center over three days. Around 300 students from all over Japan joined this event to discuss the future of the United Nations Security Council. Among the 16 students from MOIS, more than half were joining MUN for the first time.

It was challenging for the students to discuss this complex issue in English but they did their best and played an important role in each of the event rooms. So, why are MUN events like this so good for MOIS students? Not only do they give our students the chance to use the English language skills that they have developed, but these opportunities also build our students' critical thinking skills and allow them to build networks with students from many other schools. In the future, we hope more and more students will join such events!



3rd Grade students representing the UK.

### 1学年 「人生の先輩から学ぶ」

1学年担当: 松山 侑紀

1学年は先日の LHR にて、昨年8月から行っているキャリア教育プログラム「人生インタビュー」のまとめを行いました。生徒たちはそれぞれ身近な大人2名にインタビューして学んだことを班で発表し合いました。生徒の振り返りの一部をご紹介します。

「自分の仕事の役割を成し遂げて他の人のためになることで、やりがい生まれることが分かった」

「父が仕事について熱く語っているのを見て、自分も将来誇れる仕事をしたいと思った」

「定年した後もいろいろなことにチャレンジして人生を楽しんでいる祖父の話が印象に残った」

「未来の自分のために、ときには大きな決断をすることで意味のある結果が得られると学んだ」

それぞれが自分の将来を考える上での、様々なヒントを得られたようでした。インタビューにご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございました。

3月の大宮国祭に向けた準備も、各クラス協力して取り組んでいます。1組は「謎解き縁日」、2組は「劇」、3組は「シューティングゲーム」、4組は「世界のカジノゲーム」を企画しています。ぜひお越しください。



2学年「大宮国祭に向けて」

2学年担当：山下 紘輝

2回目となる大宮国祭まであと2週間となりました。各クラスで協力しながら、着々と準備を進めているところです。今回は各クラスの企画リーダーから企画の BGS (Back Ground Story) とともに意気込みを聞きましたので、ご紹介いたします。

**2年1組**

2-1は「Detective shooting」を行います。最愛の人を探す冒険に出かける出し物です。冒険が終わり恋人奪還に成功したあなたは綺麗なフオトスポットで写真が撮れるかも！？最愛の人を奪還するためにはあなたが必要です！探偵一同お待ちしています！！

**2年2組**

2-2では「プーさんのハニーアドベンチャー ～疫病から森を救え！～」を行います！お客さんが森の仲間となり、奇妙な病気で苦しめられている森を救う旅へと世界に森の仲間と旅立ちます。奇妙な病気から仲間たちを救うために様々な経験をしていく没入型のアトラクションです！ぜひあなたの手で森を救ってみてください！

**2年3組**

私たち 2-3 は「劇場版名探偵ドコナン～愛と追跡の一本道(ストリート)～」を行います！いらっしゃるお客さん自身が探偵となって、様々な謎解きを解いていき、話題のストーカーを突き止める没入体験型のお化け屋敷です！ストーカーという目線での歪んだ愛をぜひご体験ください！

**2年4組**

2-4は「写真の館」を行います。今は亡き主人が愛した世界中の映えスポットを提供している館があります。しかし、お化けが出たという噂が...映えスポットを求めて館に来たあなたは無事に館から出ることはできるでしょうか？お化け屋敷の概念を覆す革命的な企画です。メイド一同お待ちしております！

3学年「深い学び」

3学年担当：神山 裕章

今月は前期課程の集大成とも言える学習活動が多かったように思えます。各教科の課題に真剣に取り組むのはもちろんのこと、来月予定されている「大宮国祭」の準備を、生徒主導で積極的に進める姿が見られました。

また3年間毎朝取り組んできた All English では、Valentine's Day Edition と題して、3日間に渡り詩の作成に臨みました。仲間と和気あいあい語り合いながら、英語の詩をつくりあげていく姿に頼もしさを感じました。

最後に、長い間お世話になってきた給食を食べることができるのも、あとわずかとなりました。みんなで同じものを食べるおいしさを、思う存分味わって貰いたいと思います。



↓大宮国祭準備



↑ All English Valentine's Day Edition

↓給食(好きなもの争奪戦)



## 4年次「成長段階」

4年次担当:戸所 良介

早いもので4年次の1年間が間もなく終わろうとしています。進級したばかりの4月当初と比べると、放課後学校に残って学習に取り組む生徒が増えるなど、学習への意識の高まりを感じています。また大宮国祭に向けて企画の準備を積極的に行ったり、2月12日(祝月)に行われたさいたまマラソンのボランティアに参加したりするなど、学習以外の場面でも躍動する姿が多々見受けられました。ぜひ今後も学習、そしてCAやSAなどをはじめ、様々な活動に取り組んでほしいと思っています。4年次の日々も残りわずかとなってきましたが、年次職員としては、生徒一人ひとりを尊重しながら、各生徒をよりよい方向へ導けるよう最後まで指導してまいりますので、今後とも各ご家庭のご支援をよろしくお願いいたします。



さいたまマラソンでのボランティア



授業でのプレゼンの様子



SA 美化による古墳の清掃

## 5年次「来年の『今』をイメージして」

5年次担当:北川 嘉則

大学入学共通テストまでほぼ1年となった1月12日、校長から生徒の進路実現に向けて、「これまで本校で培ってきた力、経験を活かして、世界の、自分のより良い未来を拓いていこう」というメッセージが送られました。その後生徒たちは、日々の授業や総括的評価課題に加えて、共通テストの同日体験受験や全統記述模試、進研共通テスト早期対策模試などに対して、一生懸命に取り組んでいました。少し疲れをみせる場面もありましたが、来年の「今」をイメージして、体調やモチベーションの管理などたくましい体と強い意志をここで身につけてほしいと思います。一方で、大宮国祭に向けた準備にも各クラスで時に楽しく、時に悩みながら取り組んでおり、まさに青春真ただ中といった様子も見られました。生徒たちはもう一人前のように見えても、ふとした瞬間に幼さや弱さを見せることがあります。年次としてともに過ごす時間は短くなってきましたが、最終年次に向けてサポートしていければと考えています。ご家庭におかれましても、来年の「今」をイメージしながらお声がけいただければと思います。

